

## BUNさんと廃棄物処理法に挑戦しよう！



今回の宿題は排出事業者の保管基準でしたね。では、確認していきましょう。

宿題Q、事業者が工場又は事業場で発生した産業廃棄物を処理業者に引き渡すまでの、場内での産業廃棄物の保管について、正しいものはどれか。

- (1) 工場又は事業場内であれば、特に規制はかからない
- (2) 工場又は事業場内の建屋の中であれば、特に規制はかからない
- (3) 工場又は事業場内では、産業廃棄物を保管してはならない
- (4) 工場又は事業場内であっても、囲いや掲示板などの規制がある
- (5) 工場又は事業場内であっても、保管量の制限の規制がある

### 【解説】

工場や事業場から排出される産業廃棄物を運搬するまでの間その場内での保管の基準については、平成10年の法改正により法第12条第2項に規定された。この規定の具体的な内容は省令第8条に定められ、囲い、表示、飛散流出防止、悪臭発生防止、汚水防止の設備の設置、容器を用いない場合の高さ及び勾こうばい配制限、衛生害虫発生防止、石綿含有産業廃棄物のその他の物との混合防止である。

また、一度工場又は事業場から搬出した物は積替保管の基準が適用となり法第12条第1項の規定の適用となる。この規定は、法第12条第2項の規定に加え、保管量の制限が加わる。具体的には、日平均搬出量の7日分を超えて積替保管はしてはならないとしている。

これらの考え方は平成10年5月7日衛環第37号厚生省通知の第7に記載されている。

正解(4)

排出事業者が排出場所での保管基準の大きな特徴として「保管量上限」が規定されていないことがあります。これは普通の事業所、工場、建設現場なら敷地が限られていますから無限大に保管など出来ない、ということや、共通基準として飛散、流出、悪臭、地下浸透等は規制されているので「保管量上限」まで法令で規制するまでのことは無い、ということなのだと思います。では、もう一つ「保管」に関する基準から出題。

Q、次のうち、積替えのための保管量の上限に関する規定として正しいものはどれか。

- (1) 前年度の最大搬出量(1日あたり)に7を乗じた数量
- (2) 平均的な搬出量(1日あたり)に7を乗じた数量
- (3) 前年度の最大搬出量(1日あたり)に10を乗じた数量
- (4) 平均的な搬出量(1日あたり)に10を乗じた数量
- (5) 平均的な搬出量(1日あたり)に14を乗じた数量

～廃棄物処理問題～

【解説】

収集運搬に伴う保管は、積替えを目的として一時的に行われるもののみが認められており、不適正処理につながる過大な保管を防止するため平均的搬出量の7日分と規定されている。平均的な搬出量とは、前月の産業廃棄物の総搬出量を前月の総日数で除して得た数量であり、新たに保管の場所の使用を開始する場合又は使用を休止していた保管の場所の使用を再開する場合にあっては、計画搬出量をもって平均的な搬出量とする。

なお、次の場合は、積替えのための保管量の上限に関する規定は適用されない。(政令第6条第1項第1号ホ、省令第7条の4)

- ・ 船舶を用いて産業廃棄物を運搬する場合であって、当該産業廃棄物に係る当該船舶の積載量が、当該産業廃棄物に係る積替えのための保管上限を上回るとき
- ・ 使用済自動車等を保管する場合

正解(2)

一般廃棄物の収集、運搬の基準として次の規定があります。(問題に関係しない部分はカットしています)

第三条 法第六条の二第二項の規定による一般廃棄物の収集、運搬及び処分の基準は、次のとおりとする。

一 一般廃棄物の収集又は運搬に当たっては、次によること。

チ 一般廃棄物の保管は、一般廃棄物の積替えを行う場合を除き、行つてはならないこと。

この規定は産業廃棄物の収集運搬基準にも準用されています。

さて、ここで「廃棄物の保管は、積替えを行う場合を除き、行つてはならない」とありますね。

これはどういうことなのでしょう？これがすなわち、今回の問題解説に記載しました「収集運搬に伴う保管は、積替えを目的として一時的に行われるもののみが認められる」ということなのです。つまり、運搬先の当てが無いのに排出場所から廃棄物を運び出したらどうなりますか？ダンプに積んだまま走り続けるか、不法投棄でもするしかなくなりますよね。それとも「未来永劫続く保管」。結局、不法投棄や大量保管につながります。そこで「収集運搬の基準」として、「積替えを行う場合」、すなわち「積み替えた後には明確な搬入目的地がある」というケース以外では「保管」してはならない、と規定したんですね。

今回の宿題はこの「積替保管場所での保管量」についてです。

宿題Q



次の表は、事業者 X が設置している積替えのための保管施設から、ある月に搬出された産業廃棄物の数量である。この月の翌月(総日数30日)において、この積替えのための保管場所に保管できる産業廃棄物の上限として正しいものはうちどれか。

最大搬出量	最小搬出量	平均搬出量
100 m <sup>3</sup> /日	20 m <sup>3</sup> /日	50 m <sup>3</sup> /日

- (1) 1,500 m<sup>3</sup>
- (2) 700 m<sup>3</sup>
- (3) 600 m<sup>3</sup>
- (4) 350 m<sup>3</sup>
- (5) 140 m<sup>3</sup>